

泌尿器科

名古屋大学医学部附属病院



病院長名	石黒 直樹
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65番地
交通案内	JR中央線「鶴舞駅(名大病院口)」下車 徒歩3分 名古屋営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩8分

病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT(On the Job Training)を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋大学泌尿器科専門研修施設群専門研修プログラム

【研修目標】

高度の泌尿器科専門知識・技能とともに地域医療にも対応できる総合的診療に必要な基本的臨床能力を修得した泌尿器科専門医を育成する。

【研修期間】

4年

【研修スケジュール】

名古屋大学泌尿器科専門研修プログラムでは、専攻医の研修は毎年の達成目標と達成度を評価しながら進める。4年間のうち1年間の研修を研修基幹施設(名古屋大学医学部附属病院泌尿器科)で行い、希望があれば研修4年目から大学院に進学することができる。基本的には4年間の専門医研修期間中、1年次は初期研修病院で専門研修を行い、2年次以降の1年～2年間は基幹施設である名古屋大学医学部附属病院において研修を行う。詳細な研修スケジュールについては、名古屋大学泌尿器科ホームページ参照(<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/uro08/>)。



▲ダ・ヴィンチによるロボット支援手術の現場

主な連携施設

中部労災病院、一宮市立病院、岡崎市民病院、市立四日市病院、春日井市民病院、成田記念病院、県立多治見病院、国立病院機構東名古屋病院、半田市立半田病院、国立病院機構名古屋医療センター、名鉄病院、小牧市民病院、国立長寿医療研究センター、地域医療機能推進機構中京病院、名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院、豊橋市民病院、八千代病院、刈谷豊田総合病院、公立陶生病院、碧南市民病院

メッセージ

指導医

教授 後藤 百万



泌尿器科は小児から高齢者まで、男女幅広い患者層を扱い、治療には外科手術のほかにも薬物治療などの内科的治療が含まれます。また、泌尿器科は先天異常、感染症、泌尿器癌、排尿機能障害、女性泌尿器科、男性不妊や性機能障害、外傷のほか、腎機能不全に対する腎移植など幅広い領域に対応

することが求められ、手術内容も開腹、開胸を伴う大きな開創手術から、内視鏡手術、腹腔鏡手術など多彩な治療手技を行います。このように昔マイナー科と呼ばれた泌尿器科は、現在ではメジャー科の代表となっています。さらに、特に泌尿器科の大きな特徴は、検査から治療まで一貫した診療を行うことです。名古屋大学泌尿器科専門研修プログラムでは、名古屋大学医学部附属病院を基幹施設として、約25の連携病院があり、年間手術件数は1万1千件を数え、手術支援ロボットのダ・ヴィンチは10病院に設置され、Common diseaseの診療以外に、ロボット手術、腹腔鏡手術、腎移植、女性泌尿器科、小児泌尿器科、癌化学療法、男性不妊症、性機能障害などの専門診療の知識と技術を習得するための設備と教育体制が整備されています。また、臨床での修練以外に、臨床研究や基礎研究、海外留学なども貴重な経験です。当研修プログラムは、泌尿器科領域のすべての疾患に対応できる知識と技術を持ち、さらに研究マインドも兼ね備えた質の高い泌尿器科医の育成を最も重要な役割と考えています。

泌尿器科

募集要項

採用予定人数	10人程度
給与/月額	月額約20万円に加え、該当する場合に手当(通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当(夜間診療業務手当等))を支給
当直回数/月	約2-3回/月(基幹施設:名古屋大学病院)
当直料/回	20,000円/回
その他	平日日勤帯の外勤等(週1日まで)可
応募連絡先	担当者 後藤 百万
	電話番号 052-744-2984/2985
	Eメール gotoh@med.nagoya-u.ac.jp

名古屋市立大学病院



病院長名	小椋 祐一郎
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

病院の特徴

当院は808床の病床、30の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。

外来診療棟、病棟・中央診療棟に続き、近年増加するがん患者さんに対し、高度な診断や先端治療を併用する集学的な治療が行えるように、平成24年には喜谷記念がん治療センター（東棟）を開院しました。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受けると共に、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。

研修プログラムの特徴

名古屋市立大学泌尿器科専門研修プログラムは名古屋市立大学病院を基幹施設として、都会あるいは地方拠点病院からなる15の連携施設、さらに地域協力施設、都会診療所、地方診療所から構成されています。このほとんどが名古屋市内を中心に愛知県内にあります。この研修施設群において、ロボット支援手術や腹腔鏡手術などの最先端医療、泌尿器腫瘍、尿路結石症、小児泌尿器科、女性泌尿器科、排尿障害、生殖医療などの領域を専門的に実施しています。まさに泌尿器科領域のすべてを網羅した、専門医になれる環境を用意しています。

<研修モデル>

名古屋市立大学泌尿器科専門研修プログラムでは専攻医4年間で年次毎の研修目標と修練の内容を以下のように主に3パターンに設定しております。大学院進学は希望に合わせて行います。

1 連携病院 → 大学病院 → 連携病院

2 大学病院 → 1～2施設の連携病院

3 1～2施設の連携病院 → 大学病院

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照
http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



主な連携施設

名古屋市立東部医療センター
名古屋市立西部医療センター
安城更生病院
豊田厚生病院
海南病院
江南厚生病院
豊川市民病院 など全15施設

メッセージ

一緒に日本一の泌尿器科医を目指そう!

泌尿器科 部長 安井 孝周



泌尿器科専門医は、人として生まれる前の精子の段階から小児、成人にいたるまで様々な泌尿器疾患を診断、治療する診療科です。我が国の高齢化にともない、排尿障害、尿路上皮性悪性腫瘍、慢性腎疾患などが増加し、泌尿器科のニーズはますます高まっています。当

プログラムで全世代の診療を経験し、世の中の全ての患者さんのためにがんばりましょう。

募集要項

採用予定人数	数十人 ※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定	
給与/月額	228,000円～478,000円 (勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)	
当直回数/月	4回程度(診療科により異なる)	
当直料/回	24,000円～34,000円	
その他	年間有給休暇20日間、通勤手当、協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり	
応募連絡先	担当者	医学・病院管理部教育研究課医療人育成係 専攻医募集担当
	電話番号	052-853-8545
	Eメール	s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

藤田保健衛生大学病院

平成30年1月 新棟オープン



病院長名 湯澤 由紀夫

所在地 〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

交通案内 名鉄線名古屋駅より(22分)前後駅下車、名鉄バス(15分)「大学病院」下車 / 桜通線名古屋駅より(35分)徳重駅下車、名古屋市営バス徳重13系統または名鉄バス(16分)「大学病院」下車 / 鶴舞線伏見駅より(21分)原駅下車、名古屋市営バス徳重13系統(33分)「大学病院」下車

病院の特徴

当院は名古屋市に隣接しており、道路を渡ると名古屋市という好立地にあります。多種多様な疾患に対応しており、DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」で当院のDPC件数が全国の大学病院の中で第1位となりました。(平成26・27年度)

藤田保健衛生大学腎泌尿器外科では小児から高齢者、良性疾患から悪性疾患、先進医療から終末期医療までをモットーに数多くの症例を経験することが可能です。立地条件のよい関連施設も多く幅広い研修を行うには最適です。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

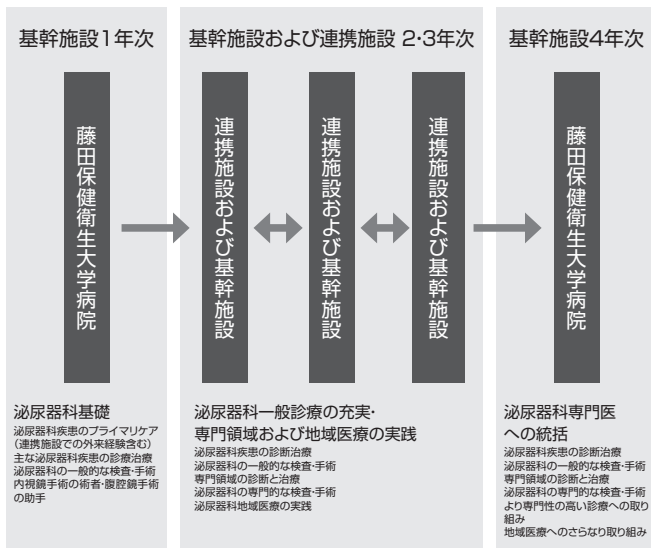
藤田保健衛生大学泌尿器科専門研修プログラム

【研修目標】

地域医療と専門医療の両面へ配慮されたバランスのよい優れた泌尿器科専門医の育成を行う

【研修期間】

4年



▲毎日行われるカンファランス風景

主な連携施設

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院(名古屋市中区)、西知多総合病院、名古屋掖済会病院、総合青山病院、名古屋記念病院のほか、東海地区として岐阜県中津川市民病院、静岡赤十字病院、他地区では平塚市民病院(神奈川県平塚市)、長久保病院(東京都立川市)、新村病院(鹿児島県鹿児島市)

メッセージ

私たちとともに楽しく医療の未来を拓きませんか？

指導医

腎泌尿器外科臨床教授 佐々木 ひと美



藤田保健衛生大学腎泌尿器外科学教室では小児から高齢者、先天性疾患から悪性腫瘍まで泌尿器に関する全ての疾患において、最先端医療から終末期まで患者さんに寄り添う緩和医療を提供しております。特に、2009年より全国に先駆けて導入したロボット

支援手術は、保健適応となっている前立腺癌、腎癌部分切除術をはじめ、保険収載がない膀胱癌(腔内尿路変更術を含め)、小児泌尿器科疾患、女性骨盤臓器脱(POP)に対する低侵襲手術を含め泌尿器科のみで国内トップレベル1000件以上の症例の治療経験を有します。また、献腎移植の治療成績(腎生着率)は、世界のトップクラスを誇り、心停止ドナーからの献腎移植も米国移植学会など海外からも注目されています。研究テーマも腫瘍、移植免疫、機能、細菌感染等、多岐に渡り、国内外の研究施設や学内の総合医学研究所、他の専門分野との共同研究も活発に行われており、これらの成果は国内だけでなく海外の学会等でも広く発表され注目されています。泌尿器科医局員は底抜けに明るく優しい医局員ばかりです。

募集要項

採用予定人数	4人	
給与/月額	基本給:月額268,840円 別途、賞与、その他各種手当、その他支給あり	
当直回数/月	4~5回/月	
当直料/回	当直12,000円/回 オンコール手当7,000円/回	
その他		
応募連絡先	担当者	佐々木 ひと美
	電話番号	0562-93-9257
	Eメール	urology@fujita-hu.ac.jp

泌尿器科

愛知医科大学病院



病院長名	羽生田 正行
所在地	〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内	地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分

病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。充実した設備と最新の診療体制を整え、名古屋市東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。特定機能病院、高度救命救急センター、基幹災害医療センターなどに指定され、2017年5月1日付けでNPO法人卒後臨床研修評価機構の定める認定基準を達成していると施設として4年認定の更新がされました。

2014年5月に新病院が開院し、「元氣ホスピタル～あなたを元気にする。私も元気になる」を病院のスローガンに、職員一丸となって日々精進しています。先進医療と最適な医療環境を提供し、患者さんが元気になる頂く事はもちろん、医療体制の分業化や本来業務」の特化を図る事で、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

愛知医科大学泌尿器科専門研修プログラム

【研修目標】

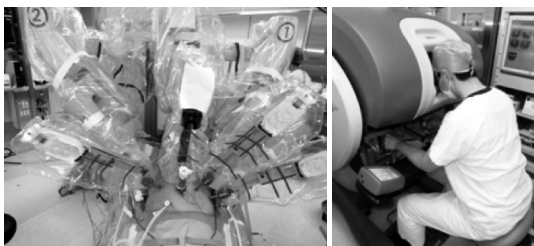
専攻医は泌尿器科研修プログラムによる専門研修により、「泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備えた医師である」という基本的姿勢のもと、1.泌尿器科専門知識2.泌尿器科専門技能:診察・検査・診断・処置・手術3.継続的な科学的探求心の涵養4.倫理観と医療のプロフェッショナルリズムの4つのコアコンピテンシーからなる資質を備えた泌尿器科専門医になることを目指します。また、各コアコンピテンシーにおける一般目標、知識、診療技能、態度に関する到達目標が設定されています。

【研修期間】

4年

【研修スケジュール】

4年間のうち1年次の研修を基幹施設(愛知医科大学病院泌尿器科)で行います。その後2年次、3年次の研修は連携施設の中でも特に症例の多い診療拠点施設で研修を継続し、4年次の研修は基幹施設で行います。希望があれば研修4年目から大学院に進学することができます。専攻医はロボット支援手術や腹腔鏡手術などの最先端医療、小児泌尿器科、女性泌尿器科、透析医療、生殖医療、地域医療などの幅広い領域の研修が可能で、サスペンシャリティー領域の研修も十分に経験できます。



▲ロボット手術

主な連携施設

可児どうの病院、協立総合病院、常滑市民病院、旭労災病院、名古屋記念病院、東海記念病院、坂下病院、豊橋医療センター、多治見市民病院、西尾市民病院

メッセージ

指導医
教授 住友 誠



愛知医科大学泌尿器科学講座は、「社会から評価され、選ばれる医科大学」という大学の基本方針の通り、診療・研究・教育にかかわるすべての領域において、更なる飛躍のための新たな改革実現に取り組んでいきます。

私たちは「最先端の治療を地域の皆様のために」を常に念頭に置いて、「愛知医大泌尿器科といえばこれだ」と誇りを持てる泌尿器科診療の開発と提供に取り組んでいます。臨床では、現代医学には必須の「低侵襲・機能温存治療」に重点を置きながら、内視鏡手術支援ロボットda Vinciによる前立腺癌に対する根治的前立腺摘除術(RARP)、「術後早期の社会復帰を念頭に置いた腹腔鏡手術、内視鏡手術方式」の開発や、進行癌患者さんが治療内容と合併症の内容を理解しながら化学療法や分子標的治療を受けていただけるような外来、入院治療システムの導入を行っております。

泌尿器科疾患に少しでも興味がある方は気軽にご連絡ください。

募集要項

採用予定人数	4人
給与/月額	基本給167,200円 +地域手当+調整加算手当等 約56,000円
当直回数/月	2回
当直料/回	(救急外来)宿直手当 約32,000円 (病棟)宿直手当 20,000円
その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与(年2回)、社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金))、健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。
応募連絡先	担当者 泌尿器科医局、医局長:金尾 健人
	電話番号 0561-62-3311
	Eメール uro@aichi-med-u.ac.jp